

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目1 教育理念・目的・方針

点検項目		自己評価
①	学院の教育理念や目的、育成人材像は定められているか	A
②	学院の教育理念や目的、育成人材像が明文化され公表されているか	A
③	学科ごとの教育方針が明文化され公表されているか	A

◆ 自己点検評価の理由(他、課題や対応があれば)

開学より「建学の精神」を基本とし、誠の医療を常に提供できる医療人を目指すべき人材を育成している。
学院のHPでは、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3ポリシーを掲載し、誰に対しても基本方針が理解できるように公開している。
学生に対しては各学科・学年でのガイダンスや前期・後期のオリエンテーションにおいて冊子媒体を活用し説明している。
学生募集に際しても、オープンキャンパス等で「建学の精神」を伝え、当学院の目指す教育理念・目標を丁寧に説明した。
また今年度より保護者会総会を再開し、学院の教育方針等を説明した。

項目2 学校運営

点検項目		自己評価
①	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	A
②	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されてるか、有効に機能しているか	A
③	国のガイドライン等で定める基準が遵守されているか	A
④	情報システム化による業務の効率化が図られているか	B

◆ 自己点検評価の理由

前年度の学生動向や官公庁の指針、規則改定などをふまえ、学内で継続的に審議し次年度に向けての事業計画を立案している。
運営会議、カリキュラム検討(FD)委員会・協議会等、学則に明文化している。
国の基準に従い、各職能団体が提示している業務指針及びガイドラインを参考に、必要に応じて学則の改定等を実施している。また、第三者機関の審査規定を遵守し、自己点検をしながら適宜クリアしている。
情報システム化については、コロナ禍における対応を継続し、教職員の情報共有が円滑に進むよう整備がなされている。
しかし、学生の教育に必要な整備については不十分な点もあり、今後の課題として取り組みたい。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目3 教育活動

点検項目		自己評価
①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A
②	教育目標に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A
④	関連分野の医療施設との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	A
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
⑥	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	A
⑦	成績評価・単位基準・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A
⑧	人材育成、目標に向け講義を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	A
⑨	関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	A
⑩	教員の能力開発のための研修等が行われているか	B

◆ 自己点検評価の理由

<p>建学の精神に沿った教育を目指し、教育課程の編成・実施を行った。また、養成施設指導ガイドラインの改正に伴い、適宜対応を行った。シラバスを公開し、3年間の学習過程を可視化することにより、学生自身が主体的に学ぶことが出来る指導体制を図ることが出来た。外部関係者からの評価を取り入れ、学内の教育の質の向上を図る取り組みを行った。FD委員会を中心に、学科等のカリキュラムが体系的に編成されているか確認をし、必要に応じて見直しを行った。また、学生の授業評価を各期ごとに実施し、講義内容の見直しを行いながら時代に即した教育を目指して工夫・実施を行っている。各専門分野ごとに、豊富な臨床経験を有する教員並びに非常勤講師を配置して、先端的な講義が行われるよう取り組んでいる。教員の能力開発のための研修については、on-line講義等の時代に即した内容も加味して今後工夫した講義が行われるよう、取り組んでいきたい。</p>
--

項目4 教育成果

点検項目		自己評価
①	資格取得率の向上、維持が図られているか	A
②	就職率の向上、維持が図られているか	A
③	退学率の低減が図られているか	B
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B

◆ 自己点検評価の理由

<p>常に国家試験合格率100%を目指し、国家試験対策講義や模擬試験を実施し個々の学生に応じた学科別対応・ゼミ形式の指導・個人指導等を行っている。</p> <p>理学療法学科 新卒者 合格率 100% (全国平均 95.2%) * 昨年100%、一昨年91.4% 就職内定率:100%(3月末時点)</p> <p>作業療法学科 新卒者 合格率 95.5% (全国平均 95.3%) * 昨年94.4%、一昨年100% 就職内定率:100%(3月末時点)</p> <p>学生の希望に応じて就職指導を行い、就職試験についての細かなサポート(面接指導、履歴書指導)により就職率の向上を目指している。退学率の低減を目指して適宜学生面接を行い、学生の状態の把握に務めている。成績不良、金銭的理由で退学する者はいたが、学生全体では退学者数は昨年より半減した。理学療法学科(今年度3人、昨年度7人)、作業療法学科(今年度3人、昨年度8人)。</p> <p>学業に支障が無い範囲で、積極的にボランティア活動への参加を推奨している。卒業後は、各種専門職団体を通じて社会的な活動を行っている。</p>
--

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目5 学生支援

点検項目		自己評価
①	就職に関する体制は整備されているか	A
②	学生相談に関する体制は整備されているか	A
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	B
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	C
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	B
⑦	保護者と適切に連携しているか	A
⑧	卒業生への支援体制はあるか	A

◆ 自己点検評価の理由

①求人閲覧室を設置し学生はいつでも求人情報を得られる環境にある。また、担任を中心に就職活動の支援を行い、円滑に内定を得られるよう取り組んでいる。
②学生相談については、適宜担任により面接を行い常に学生の状況を把握するよう努めている。また、必要に応じて学内カウンセラーへ繋げて早期の対応を図っている。
③成績優秀者への学費免除等、特待生制度による経済的なサポートを行っている。また、学納費に困窮した場合の相談も個別窓口を設け対応している。
④附属病院において健康診断を実施し、健康状態の把握に努めている。また、体調不良者は附属病院での受診等、医療面における支援体制を整備している。
⑤課外活動は、学生自治会等を通して活動している。また、自治会主体のボランティア活動へのサポートも行っている。
⑥入学時の宿舍案内、各種任意保険、生活防犯対策、実習生活の対策等ガイダンス時に外部から専門家・講師を招き対応している。
⑦保護者への情報提供として、メール等を活用して必要に応じて連携を図っている。また、保護者面談を行い、学院での学習状況を説明し適宜連携を行っている。
⑧同窓会活動を通じて、卒業生との連携を図る機会を設けている。

項目6 教育環境

点検項目		自己評価
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	B
②	学外の実習施設について十分な教育体制・生活環境を整備しているか	A
③	防災に対する体制は整備されているか	C
④	図書など教育上必要な資料が系統的に整備されているか	B

◆ 自己点検評価の理由

指定規則、ガイドライン等で定められている基準に従って整備されている。また、指定規則、ガイドラインの改正に伴って適宜整備を行っている。
基本的に on-line 講義は実施していないが、システムは常時使用できるよう継続しており、臨床実習先での学生面接等で有効に利用している。
実習については、1)臨床実習指導者講習会での指導者との連携 2)実習施設整備及び宿舍の確保 3)コロナ禍における実習施設変更や振替
4) 宿舍費や移動にかかる交通費の一部負担など、学外実習についての教育体制・生活環境の整備を行っている。
定期的な消防避難訓練の実施により、災害時の対応のマニュアル作成から実施の取り組みを行っている。今後の課題として、耐震補強の
工事等の実施が必要と思われる。
新規図書の購入と既存図書の整理をしながら、教育上必要な資料等の整理対応を行っている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目7 学生募集と受け入れ

点検項目		自己評価
①	学生募集活動は適正に行われているか	A
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A
③	学納金は妥当なものとなっているか	B

◆ 自己点検評価の理由

広報室を設置し、室長を中心に高等学校訪問を積極的に行い、教育内容・教育成果について説明を行っている。また、高校別のガイダンス等にも積極的に参加し、広く学生募集活動を行っている。また、オープンキャンパスを定期的実施し、受験生や保護者に教育成果を伝える機会を設けている。

入学者選抜要項が整備され、公表されている。

また、ホームページにて入試情報・学納金・諸経費等についても公開している。

項目8 財務

点検項目		自己評価
①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
②	財務について会計監査が適正に行われているか	A
③	財務情報公開の体制整備はできているか	A

◆ 自己点検評価の理由

年度末には、事業計画に沿っての反省と課題を整理し、年度初めには前年度の反省を踏まえ事業計画を立案して報告書を作成。

報告書は、理事会・評議委員会へ提出し承認を得ている。

財務の情報公開は法人本部にて一括掲示している。学院で申し出を受けた場合、紙面を提示する体制をとっている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目9 法令等の遵守

点検項目		自己評価
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
③	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A
④	自己点検・自己評価の公開を行っているか	A

◆ 自己点検評価の理由

①毎年所管機関へ現状を報告している。重要事項については学院会議により決定している。
②個人情報保護規程を設け、対応している。また、その内容を学生便覧に掲載し、学生に周知を行っている。
③第三者機関(リハビリテーション教育評価機構)により定期的な評価を受け、その際に自己点検をし問題点について改善すべく取り組んでいる。
④学院のホームページに一般公開している。

項目10 社会貢献・地域貢献

点検項目		自己評価
①	自治体事業への協力	B
②	地域住民への貢献、公開講座等を実施しているか	B
③	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	B

◆ 自己点検評価の理由

コロナ禍で実施出来ていなかった活動や事業が徐々に実施可能となり、昨年度より社会貢献・地域貢献の取り組みが増えつつある。
①愛媛バラスポーツフェスティバル ②傷害予防のための地元中学校へのストレッチ指導 ③えひめアビリンピック ④えひめねりんピック 等、地域支援事業への参画を継続的に実施すべく、学生と一体となって取り組んでいる。
ボランティア活動は、学生の学業に支障のない時間帯や曜日になるため、学生の休日・休息日や自主勉強、健康やストレスなども考慮し、学科、学年別、有志など無理のない範囲で行えるよう学院として可能な範囲で継続的にサポートしていく考えである。